

高富児童館だより

閩高富児童館 Tel22-4750

おもちゃ病院

毎月第2月曜日は「おもちゃ病院ぎふ」の皆さんが児童館にやってきます。

「おもちゃ病院ぎふ」の皆さんは、ボランティアで壊れたおもちゃの修理を行っています。毎回、たくさんの親子が、壊れたおもちゃを持って来館されます。帰りには、直ったおもちゃをうれしそうに見せてくれる子どもたちもいます。物を大切にする気持ちが、子どもたちにも芽生えているようです。

また、子どもたちは、ボランティアさんがおもちゃを分解する様子に興味深げに見ています。

一番修理をお願いしているのは、高富児童館のおもちゃかもしれません。児童館ではいつもみんなが楽しく遊ぶおもちゃも大切に使っています。

おもちゃ病院

毎月第2月曜日(祝日の場合は第3月曜日)

- ・おもちゃを修理に出すときは、ケース、付属品、説明書をお持ちください。
- ・修理費は無料ですが、部品交換、改造が必要な場合は実費が発生します。
- ・当日修理できなかったものは、入院(お預り)となります。

詳しくは高富児童館へ問い合わせてください。



地域包括支援センターだより

閩南部地域包括支援センター
Tel22-6886

冬のお風呂の入り方

高齢者の死亡原因5位は不慮の事故です。その大半は入浴中に起こっています。

高齢者が安心して入浴する方法

①脱衣所と、浴室の温度差をなくす。

脱衣所を暖房器具で温めておくといいです。

②入浴中に家族が、「気持ち良い?」「大丈夫?」など声かけをして、様子を見る。

体調がおかしいときはすぐにあがるようにしましょう。

③湯船の温度は、38～40℃。つかるのは、10分以内にしましょう。

④食後、深夜には入浴しない。冬場は、気温が下がる前の夕方など、できるだけ早めの入浴が良いです。

⑤高血圧・心肺の疾患のある人は、「半身浴」にしましょう。



南部地域包括支援センター Tel22-6886

北部地域包括支援センター Tel52-3340

山県市自慢の学校給食 ～おすすめメニュー～

「しいたけかつ丼」

市内すべての小・中学校は、自校で給食を調理して、全校児童・生徒がランチルームに集まり、みんなで温かい給食を食べています！



▶材料(4人分)

ごはん 4人分
鶏もも肉 40g
タマネギ 1/2個
ニンジン 1/4本
かまぼこ 20g
卵 3個
サラダ油 適量
三つ葉 15g
生シイタケ 中サイズ4枚
塩、こしょう 少々

(1人当たり 430kcal)

小麦粉 20g
パン粉 30g

調味料 { 砂糖 大さじ4/5
塩 大さじ1/3
しょうゆ 大さじ4/5

献立について

しいたけかつ丼は、山県市にある「てんこもり農産物直売所」で提供されている「しいたけカツ丼」を学校給食に取り入れた献立です。

▶作り方

1. タマネギ、ニンジン、鶏もも肉は食べやすい大きさに切り、シイタケは軸を取り、軸部分をせん切りする。
2. かまぼこはいちょう切りにし、三つ葉は3cmに切る。
3. 鍋にサラダ油を熱し、1を炒め、ひたひたの水を加えて煮立ったら、かまぼこを加え、調味料を加える。
4. 卵を溶きほぐし、3にまわしかけ、三つ葉を入れる。
5. 1で軸を取ったシイタケに、塩、こしょう、小麦粉(材料外、適量)をふり、小麦粉と水(20ml)を混ぜたものにくぐらせ、パン粉をつけ、油で揚げる。
6. どんぶりに盛ったごはん、上から4をかけ、5をのせ完成。



市無形民俗文化財調査報告書は、市内の小中学校、図書館、中央公民館、地区公民館に備えてあります。



飾り付けた馬頭観音像と石組み

■実施主体
■実施日
馬頭観音同講、現在は
5戸(長野姓2戸、田
中姓2戸、宮川姓1戸)

02 八月堂の
馬頭観音祭 (美山地域
葛原)

—— 連載 —— 山県市の 祭りと 民俗芸能

市内には、先人が築き、大切に守ってきた伝統的な祭りや民俗芸能などの無形民俗文化財が多数継承されています。こうした地域の宝である民俗芸能や行事について、「岐阜県山県市無形民俗文化財調査報告書」から紹介します。

図生涯学習課 TEL 22 68 45

由緒

文治元(1185)年関東方との戦いで破れた武士が葛原に住みついたが、その子孫にあたるのが長野、宮川、田中姓であるといわれています。その中から「同講」が組織され、馬頭観音の祭礼が行われてきました。八月観音堂には、明徳2(1391)年に建造された半鐘(岐阜県重要文化財「喚鐘」)が残っています。これには観音講衆16人が寄進したと刻まれています。同講との関連が推察されます。祭礼に用いられる祭具は、いずれもこの祭礼の古さと由緒の正しさをほうふつとさせています。

行事内容

当日朝に御霊供膳にお供えを盛りつけたあと、八月堂に馬頭観音同講の講員5人が集合し、石造馬頭観音像に飾り物(竹節の手桶18個を繋いだ飼葉桶、松明、注連縄、18本の矢鏃、18本の蛸燭立て、素簾、餅)を飾りつけます。

ついで、同講のそれぞれが、馬頭観音像と石積みそれぞれ合掌礼拝し、八月堂ご本尊に額づいて、般若心経を5回読経します。読経の後、お堂の縁側で直会を行いお開きとします。